

ダイビング 海外客増

ダイビングを目的に沖縄を訪れる海外客が増加傾向にある。ダイビングショップ県内大手のシーサー（那覇市）を利用した海外客は、2012年は前年比2・6倍増の785人で、さらに13年上半期（1～6月）は1408人まで急増している。うち香港客が12年は268人、13年が3倍増の822人と大きく伸びている。

欧米客の誘致を強化しているリーフ・エンカウンターズ（読谷村）も例年1～3月期は海外客が落ち込むが、ことしは前年同期比

県内ショップ

約4倍増で好調に推移している。5月ごろからはロシア客の増加が目立つという。

県は13年度のビジットおきなわ計画で、外国人ダイバー客を新たな成長分野と位置付ける。安心・安全なダイビング環境を構築し、ガイドダイバーの養成や新事業モデルの開発など海外市場への展開を図っていく方針。

沖縄観光コンベンションビュー

した。（呉侗君）

香港、ロシアからが顕著

ロー（OCVB）は29日～8月2日まで初めて中国からダイビング関係者9人を招き、県内のダイビングスポットなどを案内する予定。11月には米国で開かれるダイビング旅行博覧会などに出席する。

OCVBの担当者は「これまで言語が通じないことで、海外客の受け入れは難しかった」と説明。しかし「近年、ダイビングショップが外国人職員を採用し、積極的に誘客しているため、受け入れ増加にもつながった。今後、官民一体で取り組んでいきたい」と強調